

市議会議員あいざき佐和子の活動ニュース vol.28 ITAMI大好き! 2012年12月

公共施設、すべてを維持できるのか?!

■なんでもかんでも、というわけには…

「うちの地元のセンター、ボロボロやから建て直してくれ」「この文化施設、そろそろ大規模な改修が必要で
す」…よく伺うお声です。市民の方々が公共施設を活用されている証拠であり、大変ありがたいところです。

もちろん、**緊急度や優先度が高いと判断されるものは、改修や建替が必要です。ただ、なんでもかんでも全部、
とはいかない厳しい台所事情もあるのです。**そこで今回は、「**公共施設の更新問題**」について取り上げます。

■「公共施設の更新問題」とは?

私たちの周りには、多くの公共施設があります。学校・幼稚園・病院・文化施設・各センター…どれも私たちの
生活にとって大事な施設です。ただ、これらの施設は**高度経済成長期に建設されたものが多く、いずれも老朽化
の時期**を迎えています。今後、大規模なリフォームや建替が一気にやってきます。

一方で財政状況は、人口減少と高齢化の中、**税収は減る一方**で扶助費(福祉的経費)は増加し、ますます厳し
くなると予想されてます。

現在の市内の公共施設を、60年間で全て建替えるとします。すると**年54億円が必要になる試算!**とてもじゃ
ないが**財政がもちません**。ではどうするのか。これが伊丹市が抱える大きな課題、「公共施設の更新問題」です。

■〇〇センターが多い伊丹市

伊丹の公共施設には1つ特徴があります。それは**共同利用施設が多い**こと。各地域にある“〇〇センター”など
で、**市内に75ヶ所**もあります。

これはかつて「伊丹は空港騒音で子どもは勉強しにくいだろう。冷暖房完備の施設を地域に」として**国から出た
補助金で建設したもの**です。時を経ること数十年。各センターは老朽化しているものの、改修費・建替費が国から
出るわけも無く、「維持したいなら伊丹市でどうぞご自由に」という状態です。

伊丹市は今後この共同利用施設をどうするか考えねばなりません。全部残すのか?集約するのか?するなら
どれを残すのか?…大変重いテーマです。しかし本腰を入れて取り組むべき時期にきています。

■まずは洗い出す!

そこで伊丹市はまず、「**公共施設白書**」を作成しました。これは“とにかく一度、市内の
公共施設について経費から利用状況から全て洗い出そう”というもの。**客観的総合的な
判断材料となりうるデータ**であり、同様の課題を抱える他自治体でも多くが作成していま
す。H24年3月に完成しており、このたび概要版も作成。年明けより本格的に市民の方々
への説明をスタートします。



「公共施設白書」
※324ページ。分厚い。

■大きな方針→具体的な計画へ

ステップ①である「データ作成」は完了。次の**ステップ②は「大きな方針の決定」**です。作成したデータから浮か
び上がった問題点を踏まえ、伊丹市として公共施設の更新をいかなる方針で進めるか決めます。ベースの方向
性を決めるわけです。

そして**ステップ③は「具体的な計画の決定」**です。定めた大きな方針をベースに、住民の方々と共にとことん議
論を重ねて、具体的な計画を決定していきます。

■とにかく問題の認識を!

以上述べてきた「**公共施設の更新問題**」は、**伊丹が抱える大きな課題**であり、一筋縄にいくものではありません。
現在ある公共施設で不要なものはないと私は思っています。どれも市民の方々の大事な施設です。

ただ、**ますます厳しくなるであろう財政状況の中、今後全ての公共施設を維持するのは相当困難な状況と判断
せざるを得ません。**今後、伊丹市における公共施設・行政サービスについて、再検討し再構築すべき時期にきて
いるのです。

もちろん様々なご意見があることは承知しています。緊急度や優先度の高いものは、もちろん**随時改修等
行っていく**ます。ただ、「**伊丹はそういう大課題を抱えている**」ことも、まずは知っていただきたい。そしてどうすれ
ば**良いか、長期的・総合的な視野で考えていただければ**と思っています。

公共施設の更新問題。今後本格的な議論に入っていきます。私も腹をくくって望む所存です。随時情報など提
供いたしますゆえ、ご理解のほどを、そしてご意見をよろしく願います。